



2001.8.1  
平成13年

# さくら市議会だより

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会

〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 ☎484-6177



## 総務常任委員会

中村 克几 中原 英雄 中村 孝治 粟生喜三男  
服部かをる 森野 正 榎沢 四郎 戸村 庄治



## 文教福祉常任委員会

望月 清義 桐生 政広 西田三十五  
長谷川 稔 檀谷 正彦 中村 春子 白井 尚夫

## 6月定例会

### 2人目の 助役に田山成一氏を選任 佐倉市交通安全条例を制定

6月定例会は、6月4日から19日までの16日間にわたり開かれました。今定例会では、「佐倉市交通安全条例制定について」など議案10件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。請願・陳情については、継続審査中の「印旛沼環境保全・治水対策早期実施意見書提出に関する陳情」1件、議員発議については、「薬害ヤコブ病問題の早期解決に関する意見書」など3件を提出し審議しました。一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に7人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。



## 経済環境常任委員会

勝田 治子 櫻井 豊 藤崎 良次  
吉井 大亮 清宮 誠 寺田 一彦 安川 政好

## 各常任委員会の構成が 変わりました

委員長 副委員長

### 5月28日 臨時会

議長に 桐生政広議員  
副議長に 中村孝治議員  
を選出

5月28日に開かれた臨時会では、西志津の用地購入代金の残金を一括払いとすることに伴う「土地取得の変更について」など2議案が提出され、ともに可決されました。また、「佐倉市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について」の発議案が提出され審議されました。さらに、議長、副議長の選挙が行われ、議長に桐生政広議員、副議長に中村孝治議員を選出、その他各組合議会議員の選挙、各常任委員、議会運営委員の選任を行いました。（議案の一覧表、議会の構成については4ページに掲載）

### 5月臨時会

### 5月14日 臨時会

西志津の土地購入  
残金16億円を  
一括払い

5月臨時会が5月14日に開かれ、西志津の消防署・スポーツ等多目的施設用地の購入代金の残金を一括払いとするための「平成13年度佐倉市一般会計補正予算」など6議案が提出され、すべて原案可決・承認されました。（議案の一覧表は4ページに掲載）



## 建設常任委員会

宮部 恵子 秋葉 詳 神田 徳光 富塚 忠雄  
伊藤 昌弘 押尾 豊幸 木原 義春 倉田 彰夫

## 表彰

議員として、地方自治の伸張・発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、次の議員が表彰されました。

- 全国・関東・千葉県市議会議長会より特別表彰（議員在職30年）
  - 長谷川 稔 議員
  - 中村 克几 議員
- 全国・関東市議会議長会より一般表彰
  - 服部かをる 議員（議員在職10年）
  - 中村 春子 議員
  - 西田三十五 議員
  - 粟生喜三男 議員
  - 秋葉 詳 議員

# 市政に関する一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。6月定例会では、11日、12日、13日の3日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。詳細については、市役所内市政資料室・市内各図書館で会議録(9月上旬発行予定)をご覧ください。

## 一般質問《代表質問》質問事項

議員名	質問事項	印本文掲載以外の質問項目
(さくら会) 伊藤昌弘	入札制度について 介護保険制度について スポーツ振興計画の具体策について	
(公明クラブ) 森野 正	三宅島の火山性ガスの影響について 保育所待機児童ゼロ施策について 介護保険における家事援助について	
(市民ネットワーク) 服部かをる	西志津用地に関する数々の判断ミスに対する責任について 市民活動への支援について 国立佐倉病院について	
(市議会) 白井尚夫	志津霊園道路の今後の方策と基本計画について 地方公共団体におけるベイオフ解禁への対応策について (金融機関との取引実態、市の対応策)	
(創生) 中原英雄	国立佐倉病院の今後 市内循環バスはどう結論づけるか 国に助役派遣を要請した理由について	
(新社会党) 勝田治子	国立佐倉病院の存続について ドメスティックバイオレンス等への対策について ファミリー・サポートについて	

## 公明クラブ

森野 正 議員

### 出産育児一時金について

**問** 国民健康保険では出産費用の支援に際し、現在30万円の出産育児一時金が出産後に支給される。昨年12月、厚生労働省は国保に限り市町村に、出産育児一時金の8割を上乗せした前倒し支給となる出産費貸付制度を2001年4月からスタートするよう要請した。佐倉市はまたこの制度をスタートさせていないが、今後の考えは。

**答** 出産費に関わる貸付制度の実施については、国・県から積極的にその事業に取り組みよう通知を受けており、佐倉市を含む11市町村から成る国保印旛支部において同一步調をとりながら前向きに検討している。

### 環境美化運動の推進について

**問** 公共施設の維持管理を住民や地元企業に委託するアダ

**答** 環境美化運動の推進を図つてはいるが、またボランティア活動の推進に際しては、例等々の条文整備を行うべきと考えるが、佐倉市では制度的なものは設けていないが、市民団体、町内会、企業等のボランティアにより環境美化活動を行っていただいております。現在のボランティアの活動を支援する観点から、新たなボランティアの取り組みを容易にするための制度の整備が必要と考えています。条例については、その活動の特性を考慮して検討していく。



お父さんと一緒にごみゼロ運動

## 市民ネットワーク

服部かをる 議員

### 「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書について

**問** 「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書は、憲法や教育基本法、国際公約に違反するものだが、子ども達が学ぶのにふさわしいと考えているのか。

**答** 正式に文部科学省の検定に合格した教科書と同様であり、他社の教科書と同様、問題は無いと考えています。特定の教科書だけを取り上げて公の場で意見を言うことは控えます。

**問** 印旛地区では教科書採択の過程で教師、保護者の意見はどのように反映されているのか。

**答** 教科書採択協議会の構成委員の中に教師、保護者があり、その中で意見が反映される。6月22日から2週間、佐倉図書館で教科書見本が展

### ペイオフ対策と財政状況について

**問** 市税の伸び悩みや経常経費の増加等厳しい財政状況の推移を踏まえ、財政運営についての考えは。また、ペイオフの解禁により地方公共団体の公金預金についても保護措置がなくなるが、対応は。

**答** 情報化の推進、地域福祉施策の充実、地域の特性に応じた社会基盤の整備等積極的に対応しなければならぬ部分もあり、調整を図りながら歳出の削減に努めていく。事務事業の見直しや組織の簡素化・効率化、民間委託の推進等、行財政全般にわたる改革を推進していく。ペイオフ解禁については、普段から金融機関の経営状況を把握し、金融機関が万一破綻したときの預金の保護施策を検討する必要がある。

### 中心市街地活性化について

**問** 中心市街地活性化法を活用したまちづくりの対象区域を、旧城下町地区、京成佐倉駅周辺、JR佐倉駅周辺としているが、どのような方向でこの地域の活性化を図るのか。

**答** 城下町として形成され発展してきたこの地区は、佐倉城の遺構や武家屋敷等歴史的な資源に恵まれている。国立歴史民俗博物館、市立美術館などもあり、これらの資源を生かしながら、まちの新しい付加価値を創造するなど、歴史の見えるまちづくりを掲げて官民一体のまちづくりを進めていく。



宮小路の武家屋敷。この辺りには、城下町をしのばせる遺産が数多く残っている

## 個人質問

寺崎特定土地区画整理事業中の行政文化施設用地を佐倉市は購入するのか？  
藤崎良次議員

**問** 都市基盤整備公団千葉支社が行っている寺崎特定土地区画整理事業の中に、行政文化施設用地(3.0ha)が計画されている。佐倉市はこれを購入するのか。また、購入するとの約束などを公団としているのか。そしてこれまでどのように話し合ってきたのか。

**答** 都市公団は国土交通省管轄の特殊法人であり、地方自治体は総務省管轄である。この両者の財政は危機的な状態である。両者の責任を明確にしておく必要がある。

**問** 区画整理地内の行政文化施設用地は、前市長時代に市から公団へ用地確保を言っている。新庁舎の有力な候補地の一つである。市の財政状況は大変厳しい。佐倉市が買つか、買わないかは西志津スポーツ等多目的施設用地のような形となり、今後の課題である。

国立佐倉病院の統廃合問題について  
公明クラブ 吉井大亮議員

**問** 市長は、地域医療の確保のため、厚生労働省に対し国立佐倉病院統廃合後の後医療を要望した。この問題に対する今後の取り組みと地域医療の確保についてどう対応するのが最善と考えているのか。

**答** 厚生労働省に対し、総合病院的な診療科目を有する病院・救急体制をとれる病院の斡旋をお願いしている。進出する医療機関が明らかになつた段階で、要望した趣旨を踏まえ、改めて市として意志表示していきたい。

東邦病院は大変混み合うので緩和していきたい。佐倉市の病床数は少ないが、医療圏の中で枠を広げることは難しい。救急診療は、

東邦病院と佐倉中央病院が対応しているが、更に救急医療の充実を図ることが課題である。国立佐倉病院の後医療を充実し、佐倉市の地域医療水準を高めていきたい。

学校プールの腰洗い槽に依存する過剰な衛生管理について  
市民ネットワーク 宮部恵子議員

**問** 腰洗い槽は、プール本体の塩素濃度(0.4~1.0ppm)の125~250倍になる50~100ppmという桁違いの高い塩素濃度を基準としているが、その根拠となるデータはない。1992年に旧厚生省は原則として不必要であるとしていた。子ども達に精神的にも肉体的にも負担をかけている腰洗い槽の使用は止めると宣言していただけないか。

**答** 短時間で洗浄できる腰洗い槽の活用は効果的であると考えている。今年度は、児童生徒の健康管理を十分に行つと共に、プールの附属施設である足洗い場、シャワー、腰洗い槽を活用し安全に水泳できるように学校へ指導している。

来年度からの運用については、学習時間や使用人数を勘案し、また各学校のプール状況に照らし、使用の有無を判断できるように資料を提供していきたい。

### 福祉問題について

市民ネットワーク 中村春子議員

**問** 介護保険が施行されて一年経過したが、様々な理由で介護サービスが必要であっても、保険を申請しない場合もある。行政は、介護保険の対象者いかに関わらず、支援を必要とする人達を早く発見し、必要なサービスを提供できる体制を確立していくべきであり、従来の体制だけでなく、生活の中での契約関係者との連携も考えるべきであるがどうか。

**答** 支援を必要とする方々が安心して生活できる社会を構築するために、民生委員、老人クラブ活動、在宅介護支援センター、社会福祉協議会、自治会組織等、各層・各種の活動が何重にも重なり合うこ

新社会党

勝田 治子 議員

**問** 「存続」を求める署名は10万人を超え、市民の関心が高く、市議会も「存続・拡充」の決議を貫いている。にも関わらず市長は、厚生労働省に「国立佐倉病院統廃合後の医療について要望書」を提出し、民間病院進出のお願いをした。事実上、国立佐倉病院の存続を否定している。市民に何の説明もなしに方針を転換したことは認めがたい。市長の説明責任を問う。

**答** 平成13年度中に廃止を含む対処方を国が決定すると聞いており、存続があり得ないという現実に対応し、後医療の確保の観点から、民間医療機関に進出を

**問** 国立佐倉病院の存続について「存続」を署名に託して(京成佐倉駅前)

**問** ドメスティック・バイオレンス(DV)等への対策について

**答** DV(夫やパートナーからの暴力)は犯罪であることが法律で規定された。市の相談窓口でもDVに関する相談は平成12年度45件あった。専門的な相談窓口の早期開設、緊急一時避難所の設置、被害女性への自立支援が必要だが、市の対応は。

**問** 佐倉市では、相談窓口研究専門部会を3月に設置し、どのような相談体制の整備を進めるか年内をめどに検討している。緊急避難施設は、広域的に設置することが適当であり、近隣市町村とともに千葉県に早期設置を要望している。さらに、関係各課と連携を図り、自立支援策を進めていく。

市政会

白井 尚夫 議員

**問** 志津霊園道路の今後の方策と基本計画について

**答** 志津地区の自治会長さん達を中心に結成された開通促進協議会では、道路の開通を強く市長に迫ったところであるが、本昌寺との調停の見通しは、また国土交通省に対し助役の派遣を要請したようだが、市長の考えは。

**問** 調停が不成立になった場合、双方の合意できる条件を探っていく必要があると考える。

**答** 調停では代替地の不動産鑑定についての主張が大きな争点であり、見通しは厳しい。



周辺住民からは、一日も早い道路開通が求められている

**問** また、今後の対応について専門的な知識を生かしていただけるよう助役の派遣をお願いした。

**答** 地方公共団体におけるペイオフ解禁への対応策について、ペイオフ制度の解禁により、地方自治体が公金として管理している銀行預金についても、自己責任で対処しなければならぬ。庁内にも研究会を設け、様々な角度から検討すべきではないか。

**問** 平成14年4月からペイオフ解禁ということで、今年5月から財政部門と出納部門の職員によりこれに対する研究会を立ち上げている。この研究会をさらに発展、充実させ、金融機関の経営状況の把握、自治体を取り得る公金預金保護の対策、金融機関が破綻したときの対応策等を検討していく。

創生

中原 英雄 議員

**問** 同じ契約に端を発した二つの監査請求の結論が矛盾するのは何故か

**答** 西志津の用地購入に関して違う角度からの住民監査請求が二つ出された。監査委員の報告では、一方は契約の合法性を疑った結論であり、もう一方は適切な契約であるが、財政上の義務を怠っていると述べている。この矛盾について説明を。

**答** ひとつはこの譲渡契約の有効性に疑いがあることを指摘する監査請求で、もう一方は契約は有効であるとした上で、支払い方法について、市長が基金を取り崩さなかったことは法定義務に違反しており、損害賠償を求めるといった内容であった。従って、観点が違う内容であり、後者については、監査委員の合議が整わず、監査結果は出していない。

**問** 負担金 補助金の見直しはどうなっているか

**答** 行財政改革の一環として、負担金等の見直しが行われている。過去の利権を手放さない意識さえ感じるものが負担金等の中には相当ある。時代の流れと要請に従って新たに必要を生じたものに門戸を開き、重複しているものは廃止するべきではないか。

**答** 目的が達成されたり、社会的な事情により実情に合わなくなったもの、あるいは受益者負担が適切であるものなどについては、補助金等を廃止すべきと考えている。ほとんどの補助金については、平成15年3月末で終わるものとの規則等の改正を行っており、この時点で基準に即して対応していく。

9月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- 初日 9月3日(月) 午後1時から
- 一般質問 9月10日(月)から13日(木) 午前10時から
- 最終日 10月2日(火) 午後1時から

議会の様がお茶の間でもご覧になれます

CABLENET 296  
5チャンネルでは、本会議の様を放送しています。

- 9月定例会初日の放送予定
- 9月4日(火) 午後6時から7時
- 一般質問の放送予定
- 9月11日(火)、12日(水) 午後6時から10時
- 13日(木)、14日(金) 午後6時から10時
- 最終日の放送予定
- 10月3日(水) 午後6時から7時



議会だよりをホームページで

佐倉市のホームページからどうぞ <http://www.city.sakura.chiba.jp>  
オリジナルページ 議会事務局をクリックして下さい。  
9月定例会の議案一覧、質問項目一覧は、8月末更新されます。

一般質問(個人質問)質問事項

議員名	質問事項
藤崎良次	200億円以上の新庁舎建設計画について 佐倉市の医療問題とは何か
(公明クラブ) 吉井大亮	旧西志津小学校用地問題について 市役所隣接地土地買収問題について
(市民ネットワーク) 宮部恵子	10月からのごみ回収システム変更と容器包装リサイクル法の問題点について 水田の農業空中散布による大気汚染及び有機農産物の被害について
(市民ネットワーク) 中村春子	水の需要減の中、ハツ場ダムの水利権の返上について 障害者福祉制度変更への準備について
(新社会党) 富塚忠雄	市有地の管理状況と開発行為における帰属されていない公共用地について 井野長割遺跡の保全について
(公明クラブ) 神田徳光	教育問題について 人権問題について
戸村庄治	国立佐倉病院の存続拡充 乳幼児医療の現物給付

**問** ごみの抑制運動の市民への啓発方法について 発泡スチロールトレーの回収について 指導、助成ができないか 一昨年の回収済み地域振興券の回収率を高める方法について

**答** 環境問題について 公明クラブ 神田徳光議員

**問** 「新しい歴史教科書をつくる会」主導でつくられた中学校社会科の歴史と公民の教科書が検定に合格した。この教科書は修正されたとはいえず、日本国憲法を肯定的に扱い戦争を賛美する内容になっており、他の教科書と同列に扱えるものではないことは明らかである。この事について教育長はどのように考えるか。また、教科書選定にあたっての考え方を伺いたい。

**答** 議員ご指摘の「新しい歴史教科書をつくる会」主導でつくられた教科書も、文部科学省の教科書検定基準に基づき検定を行い合格した教科書の1つである。現在教科書採択に向け慎重に検討中であり、特定の教科書について、意見を申し上げるのは差し控えた。義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律にのっとり様式に従い進めていきたい。

**問** 八千代市清掃センターのダイオキシン類排出における佐倉市民への健康影響調査実施について、当市としても断固たる姿勢で臨むべきと考えるが市長の決意は。また、協議の内容並びに問題点や懸念事項及び実施の時期は。

**答** ダイオキシン類対策の責任は原因者である八千代市にあると考えている。健康影響調査については、八千代市側が負担により、平成13年10月までに清掃センターを中心として半径2km以内の区域に居住する方々を対象に、両市含め100人を予定している。調査手法、調査範囲並びに調査対象者の選定方法など詳細については、八千代市において今後学識経験者や医師等で構成する健康影響調査専門委員会を設置して検討していくことである。

**問** 廃棄物の処理の順位は、循環型社会形成推進基本法に示されているが、まず排出抑制、再利用、再生利用、熱回収そして適正処分とある。この方向に沿って市の広報やCATV、パンフレット等を通じて啓発してまいりたい。家庭から排出される発泡スチロールトレーの回収については、容器包装リサイクル法に基づく分別に従い処理を進めていくが、現在のところ特別の指導、助成は行わない方針である。回収済み地域振興券については、焼却処分をせず資源としてリサイクルしていきたい。

**答** 廃棄物の処理の順位は、循環型社会形成推進基本法に示されているが、まず排出抑制、再利用、再生利用、熱回収そして適正処分とある。この方向に沿って市の広報やCATV、パンフレット等を通じて啓発してまいりたい。家庭から排出される発泡スチロールトレーの回収については、容器包装リサイクル法に基づく分別に従い処理を進めていくが、現在のところ特別の指導、助成は行わない方針である。回収済み地域振興券については、焼却処分をせず資源としてリサイクルしていきたい。

**問** 八千代市清掃センターのダイオキシン類排出における佐倉市民への健康影響調査実施について、当市としても断固たる姿勢で臨むべきと考えるが市長の決意は。また、協議の内容並びに問題点や懸念事項及び実施の時期は。

**答** ダイオキシン類対策の責任は原因者である八千代市にあると考えている。健康影響調査については、八千代市側が負担により、平成13年10月までに清掃センターを中心として半径2km以内の区域に居住する方々を対象に、両市含め100人を予定している。調査手法、調査範囲並びに調査対象者の選定方法など詳細については、八千代市において今後学識経験者や医師等で構成する健康影響調査専門委員会を設置して検討していくことである。

**問** 「新しい歴史教科書をつくる会」主導でつくられた中学校社会科の歴史と公民の教科書が検定に合格した。この教科書は修正されたとはいえず、日本国憲法を肯定的に扱い戦争を賛美する内容になっており、他の教科書と同列に扱えるものではないことは明らかである。この事について教育長はどのように考えるか。また、教科書選定にあたっての考え方を伺いたい。

**答** 議員ご指摘の「新しい歴史教科書をつくる会」主導でつくられた教科書も、文部科学省の教科書検定基準に基づき検定を行い合格した教科書の1つである。現在教科書採択に向け慎重に検討中であり、特定の教科書について、意見を申し上げるのは差し控えた。義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律にのっとり様式に従い進めていきたい。



## 5月14日臨時会の議案と議決結果

◎は全員賛成、○は賛成多数、△は賛成少数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号	本会議の議決結果	
① 平成13年度佐倉市一般会計補正予算	原案可決	○
② 佐倉市市民会館建設基金の設置および管理に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決	○
③ 専決処分承認を求めることについて	承認	◎
④ 専決処分承認を求めることについて	承認	◎
⑤ 専決処分承認を求めることについて	承認	◎
⑥ 専決処分承認を求めることについて	承認	○

## 5月28日臨時会の議案と議決結果

市長提出議案 ※丸数字は議案番号	本会議の議決結果	
① 土地取得の変更について	原案可決	○
② 監査委員の選任について	原案可決	◎

議員発議 ※丸数字は発議案番号	本会議の議決結果	
① 佐倉市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	否決	△

## 6月定例会の議案と議決結果

市長提出議案 ※丸数字は議案番号	本会議の議決結果	
① 佐倉市交通安全条例制定について	原案可決	◎
② 佐倉市道路線の認定について	原案可決	◎
③ 佐倉市道路線の廃止について	原案可決	◎
④ 佐倉市道路線の認定について	原案可決	◎
⑤ 佐倉市道路線の廃止について	原案可決	◎
⑥ 佐倉市道路線の変更について	原案可決	◎
⑦ 字の区域及び名称の変更について	原案可決	◎
⑧ 情報公開審査委員の委嘱について	同意	○
⑨ 平成13年度佐倉市一般会計補正予算	原案可決	○
⑩ 助役の選任について	同意	○

議員発議 ※丸数字は発議案番号	本会議の議決結果	
① 葉害ヤコブ病問題の早期解決に関する意見書	原案可決	○
② 労働基準法改正を求める意見書	否決	△
③ 道路特定財源の見直しを求める意見書	原案可決	○

請願・陳情 ※白抜き数字は陳情番号	本会議の議決結果	
⑰ 「印旛沼環境保全・治水対策早期実施意見書」提出に関する陳情	継続審査	◎

読みやすい議会だよりを目指します



## 主な議案の概要

主な議案の概要をお知らせします。  
丸数字は議案番号。議案名は、右の一覧表をご覧ください。

### 5月14日臨時会

- ① 歳入歳出16億1838万7000円の追加補正を行うもので、予算総額415億2838万7000円となる。スポーツ等多目的施設用地及び(仮)西志津消防署用地購入の一括支払いに要する費用を市民会館建設基金の廃止に伴う基金繰入金と前年度繰越金から支払うもの。
- ③ 平成12年度佐倉市一般会計補正予算で、歳入歳出計47万9000円を追加補正するもの。

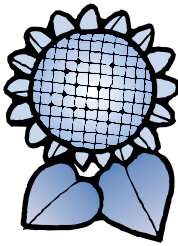
### 5月28日臨時会

- ① スポーツ等多目的施設用地及び(仮)西志津消防署用地を一括支払いで購入することに伴う取得価格の変更。取得価格は3億7077万6590円から31億3697万6830円になる。
- ② 議員のうちから選任する監査委員に、望月清義議員を選任するもの。

### 6月定例会

- ① 佐倉市における交通安全の基本理念や交通安全施策の基本を定めることを目的として条例を制定するもの。
- ② 情報公開審査委員に引き続き近藤一夫氏を委嘱するもの。
- ③ 歳入歳出4220万2000円の追加補正を行うもので、予算総額415億7058万9000円となる。
- ④ 歳出の内容は、佐倉東中学校に係る建物収去土地明渡請求事件の判決があり、この判決を受け入れ、原告に補償金を支払うもの。
- ⑩ 田山成一氏を助役として選任するもの。

## 議員発議



今定例会に議員が提出した発議の概要は次のとおりです。可決された意見書は関係省庁に送付しました。  
丸数字は発議案番号

### 6月定例会

- ① 葉害ヤコブ病問題の早期解決に関する意見書
  - ② 労働基準法改正を求める意見書
  - ③ 道路特定財源の見直しを求める意見書
- 【原案可決】

## 議会の構成

議長 桐生 政広  
副議長 中村 孝治

会派・各常任委員会等

平成13年7月9日現在

委員会 会派	総務 常任委員会	文教福祉 常任委員会	経済環境 常任委員会	建設 常任委員会	議会運営 委員会	議会報 編集委員会
さくら会	中村 孝治 粟生喜三男 榎沢 四郎 中村 克几	檀谷 正彦 桐生 政広 望月 清義	櫻井 豊 清宮 誠 寺田 一彦	押尾 豊幸 伊藤 昌弘 秋葉 詳	押尾 豊幸 櫻井 豊 粟生喜三男 榎沢 四郎	粟生喜三男
公明クラブ	森野 正	長谷川 稔	吉井 大亮	神田 徳光	長谷川 稔	神田 徳光
市民ネットワーク	服部かをる	中村 春子		宮部 恵子	中村 春子	中村 春子
市政会		白井 尚夫		倉田 彰夫	倉田 彰夫	白井 尚夫
創生	中原 英雄		安川 政好		中原 英雄	中原 英雄
新社会党			勝田 治子	富塚 忠雄	勝田 治子	勝田 治子
五月会		西田三十五		木原 義春	西田三十五	西田三十五
会派に属さない議員	戸村 庄治		藤崎 良次			

会派代表者、委員長、副委員長

組會議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合
伊藤 昌弘、吉井 大亮
印旛利根川水防事務組合
榎沢 四郎
佐倉市・酒々井町清掃組合
服部かをる、中原 英雄、木原 義春
佐倉市・四街道市・酒々井町葬祭組合
秋葉 詳、長谷川 稔
佐倉市八街市酒々井町消防組合
清宮 誠、富塚 忠雄、中村 克几
印旛郡市広域市町村圏事務組合
桐生 政広
佐倉市監査委員
望月 清義
佐倉市農業委員会
白井 尚夫、粟生喜三男、寺田 一彦

## 議会百景

国立佐倉病院の存続・拡充を求める市民の声の多い中、国では平成13年度末を目途に移譲または廃止することを閣議決定しました。  
市長及び市議会（各会派代表者会）では、この閣議決定を重く受け、次善の策として、総合病院とすること。救急医療を実施すること。の2点が図られるならば、民間病院の誘致もやむなしとして国に要望をいたしました。  
今後の課題克服に全力で取り組みます。(M.K)